

授 業 科 目 名	基 礎 運 動 学 II	授 業 形 態	講 義
		配 当 学 期	1年（後期）
担 当 教 員 名	落 合 慶 之、平 塚 将 嗣、木 村 公 亮	単 位 数	1単位
		時 間 数	30時間
授 業 概 要 学 習 目 標	<p>〔授業概要〕</p> <p>運動学は運動を科学的に分析した学問である。 作業療法士にとって解剖学・生理学と共に運動学は非常に重要な教科である。</p> <p>〔学習目標〕</p> <p>基本的な関節運動に伴う筋活動やそれらがOT治療場面でどの様に使用されているかを理解する。</p>		
授 業 回 数	授 業 内 容		
第 1 回	手の運動学Ⅰ		〔木村〕
第 2 回	手の運動学Ⅱ		〔木村〕
第 3 回	脊柱の運動学Ⅰ：脊椎の基本構造、靭帯、頸椎の運動学		〔落合〕
第 4 回	脊柱の運動学Ⅱ：胸郭の運動学、呼吸筋の作用		〔落合〕
第 5 回	脊柱の運動学Ⅲ：腰椎の運動学		〔落合〕
第 6 回	骨盤、股関節の運動学Ⅰ		〔平塚〕
第 7 回	骨盤、股関節の運動学Ⅱ		〔平塚〕
第 8 回	膝関節の運動学		〔平塚〕
第 9 回	足関節・足部の運動学Ⅰ		〔平塚〕
第 10 回	足関節・足部の運動学Ⅱ		〔平塚〕
第 11 回	姿勢・姿勢制御：姿勢の分類、力学的安定性、姿勢制御理論		〔落合〕
第 12 回	立位姿勢：理想的アライメント、筋活動、姿勢制御戦略		〔落合〕
第 13 回	歩行Ⅰ：歩行周期、歩行の空間・時間因子		〔落合〕
第 14 回	歩行Ⅱ：重心移動、床反力		〔落合〕
第 15 回	歩行Ⅲ：関節運動学		〔落合〕
評 価 方 法	定期試験（100％）を実施します。		
教 科 書 参 考 図 書	<p>〔教科書〕</p> <p>筋骨格系のキネシオロジー第3版（医歯薬出版） 基礎運動学 第6版（医歯薬出版） 運動療法のための機能解剖学的触診技術 第2版 上肢（メジカルビュー社） 運動療法のための機能解剖学的触診技術 第2版 下肢・体幹（同上）</p>		
履 修 上 の 留 意 点	作業療法士を目指す上で基本となる講義です。ここでの知識をしっかりと記憶に定着させることが重要になってきます。記憶する量も多いですが、理解できるように根気強く繰り返し復習することが必要となってきます。		
メ ッ セ ー ジ	各授業で提示する学修目標を意識して受講しましょう。 国家試験や臨床実習でも重要な科目ですので、頑張りましょう。		